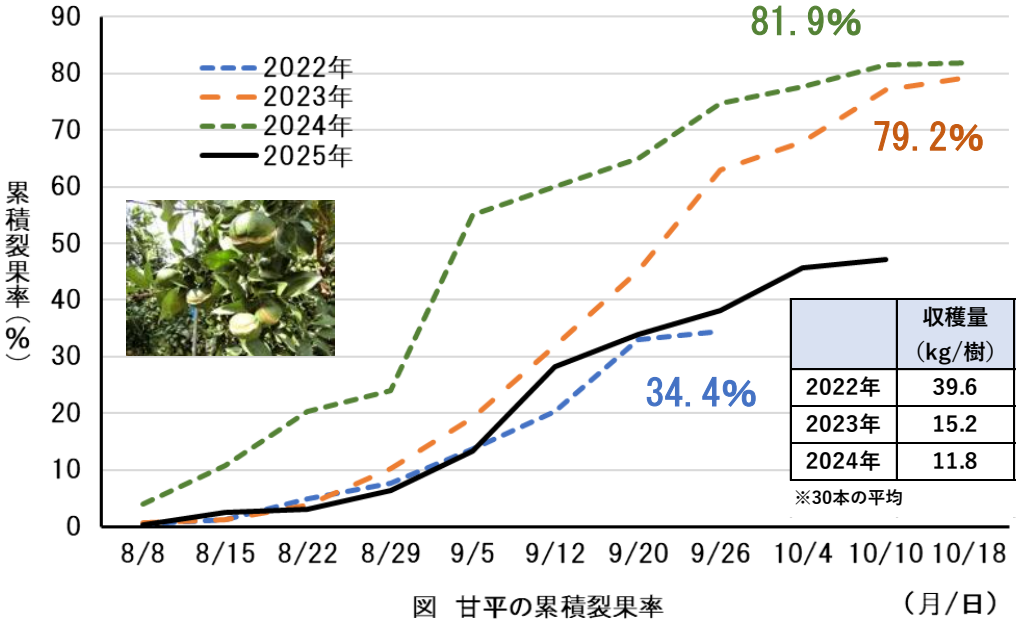
みかん研究所における近年の‘甘平’の裂果状況

‘甘平’は、夏秋期に多発する裂果が栽培上の大きな問題となっているが、近年は、収穫量が激減するほど裂果率が増加している。その要因の１つとして、地球温暖化にともなう気温の上昇が影響していると考えられる。



	収穫量（kg/樹）
2022年	39.6
2023年	15.2
2024年	11.8

※30本の平均

図　甘平の累積裂果率

2022年：８月中旬から徐々に増加。９月下旬に収束。
2023年：８月中旬から増加し、８月末から急増。
10月中旬になっても裂果は止まらず。
2024年：８月上旬から増加し、８月末から９月上旬にかけて激発。
10月中旬に収束。
2025年：８月中旬から徐々に増加。（10月も割れ続けている）

助長要因①：開花の早期化

裂果の多かった2023年と2024年は、発芽および開花が早かった。　（充実不足の花が多くみられた）

	発芽期	開花始期	開花盛期
2022年	3月28日	4月24日	5月2日
2023年	3月20日	4月19日	4月26日
2024年	3月13日	4月18日	4月24日
2025年	3月28日	4月30日	5月4日
平年	3月24日	4月26日	5月1日

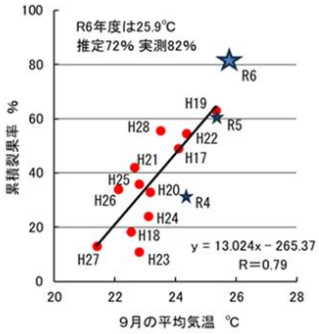
※平年値は2012～2024年の平均。

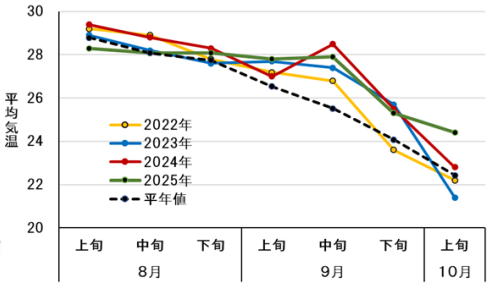


2025年は充実した花が多く着生

助長要因②：９月の高温

９月の気温が高い年は、裂果率は高い傾向がみられる。
（裂果の多かった2023年と2024年は気温が高かった）





愛媛県 農林水産研究所 果樹研究センター
みかん研究所